

市民公開講座

Marine-Biodegradable Biomass Plastics (MBBP)

開発プラットフォーム設立記念

プラスチックとの共生2

～プラスチックに突き付けられた課題～

日時 2020年11月9日(月) 15:10～16:40

会場 大阪大学中之島センター・WEB配信

参加費 無料

主催:(一社)大阪大学工業会、大阪大学工学研究科

後援:(一社)生産技術振興協会



プログラム

講演

MBBP開発プラットフォームの紹介

宇山 浩 (大阪大学)

基調講演

サーキュラーバイオエコノミーの実現に向けたバイオマス変換戦略: バイオプラスチックが実際に使われるまでに超えなければいけない山

五十嵐 圭日子 (東京大学)



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

お申込はURLあるいはQRコードから

<https://forms.gle/Me6zpgw1rWcgB9NB6>

公開セミナーの趣旨・概要も上記URLからご確認できます



【開催趣旨】

プラスチックは安価、軽量、自在な成形性による高い意匠性・デザイン対応性などの特性で、我々の日々の生活を豊かにしてきました。丈夫で腐らないという特徴を活かして幅広い分野で利用されてきましたが、自然環境中で分解されにくいために様々な環境問題を引き起こしています。近年、世界中でマクロプラスチックとマイクロプラスチックによる海洋汚染が深刻化し、毎年900万トンを超えるプラスチックごみが陸上から海洋へ流出しています。2050年には海洋プラスチックごみの量は魚より多くなるとの報告もあります。そのため、有料化されたレジ袋をはじめとするプラスチックのワンウェイ用途を減らし、プラスチックリサイクルの推進が世界的に求められています。

本市民公開講座ではプラスチックの現状を社会的な視点から俯瞰することを目指します。便利で日常生活に欠かすことのできないプラスチックとどのように共生し、プラスチックごみのない海を取り戻すために我々は今後、何をすべきか、について一緒に考えます。9月7日に第1回市民公開講座を行い、多くの方にご参加頂きました。第2回はプラスチック問題を議論する上で重要なサーキュラーバイオエコノミーに関する基調講演をメインとし、海洋プラスチックごみ問題の解決を目指して設立された Marine-Biodegradable Biomass Plastics (MBBP) 開発プラットフォームの内容を紹介します。

日時：2020年11月9日（月）15:10～16:40

場所：大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53）・WEB配信*

*YouTube ライブを利用

主催：（一社）大阪大学工業会、大阪大学工学研究科

後援：（一社）生産技術振興協会

参加費：無料

プログラム：

15:10～15:30 MBBP 開発プラットフォームの紹介 宇山 浩（大阪大学）

15:30～16:40 【基調講演】サーキュラーバイオエコノミーの実現に向けたバイオマス変換戦略：バイオプラスチックが実際に使われるまでに超えなければいけない山

五十嵐 圭日子（東京大学）

申込方法：以下の URL あるいは QR コードからお申込み下さい。WEB 配信をお申込の方には後日、メールにて YouTube ライブの URL をご連絡します。

<https://forms.gle/Me6zpgw1rWcgB9NB6>

問合せ先：大阪大学工学研究科応用化学専攻 宇山 浩